

大豆特報

魚津市
魚津市農業技術会議

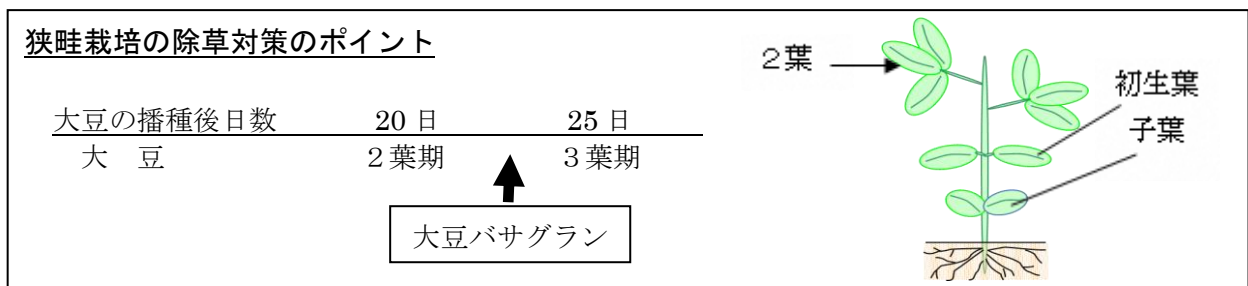
今年の大豆の生育は、降雨の影響等で播種作業は遅れ気味ですが、単作大豆は概ね順調に苗立しています。

今後も排水作業や雑草防除をしっかりと行い、初期生育を確保しましょう。また、難防除雑草（帰化アサガオ類、イヌホオズキ）は、開花結実前に必ず除草を行いましょう。

1 雑草防除 ～草種に合わせて、適期の防除を～ 【畑地1年生雑草（イネ科雑草を除く）の防除】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
大豆バサグラン液剤	・薬剤 100～150 ml 希釈水量 100 l	1回	大豆2葉期～開花前 雑草の生育初期～6葉期 （雑草茎葉散布または全面散布） 但し、収穫45日前まで

- 1) 散布時期の目安は、大豆の播種後 20～25 日頃（大豆の本葉2～3葉期）です。
- 2) イネ科雑草には、効果がありません。



【1年生イネ科雑草の防除】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
ポルトフロアブル	・薬剤 300 ml 希釈水量 50～100 l	1回	イネ科雑草（双メカビラを除く） 3～10葉期 但し、収穫30日前まで
ナブ乳剤	・薬剤 200 ml 希釈水量 100 l	1回	イネ科雑草（双メカビラを除く） 6～8葉期 但し、収穫30日前まで

- 1) イネ科雑草のみを選択的に殺草します。
- 2) 茎葉処理剤なので、イネ科雑草が生え揃った初期の段階に遅れず防除しましょう。

【非選択性茎葉処理除草剤の畝間処理】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
バスタ液剤	・薬剤 300～500 ml 希釈水量 100～150 l	3回以内	畦間処理（雑草生育期） 株間処理（大豆本葉5葉期以降） 但し、収穫28日前まで
ザクサ液剤	・薬剤 300～500 mlを 希釈水量 100～150 l	3回以内	雑草生育期（畦間処理） 但し、収穫28日前まで

- 1) 非選択性除草剤なので、大豆にかからないように十分に注意しましょう。
- 2) 乗用管理機での散布は「つり下げノズル」を使用し、噴口はできるだけ低くし、大豆の本葉にかからないように散布しましょう。

2 培土 ～1回目は遅れずに、2回目は確実に～

○ 培土作業は排水の促進、根域の拡大、雑草の抑制、倒伏防止に効果があります。

【作業のポイント】

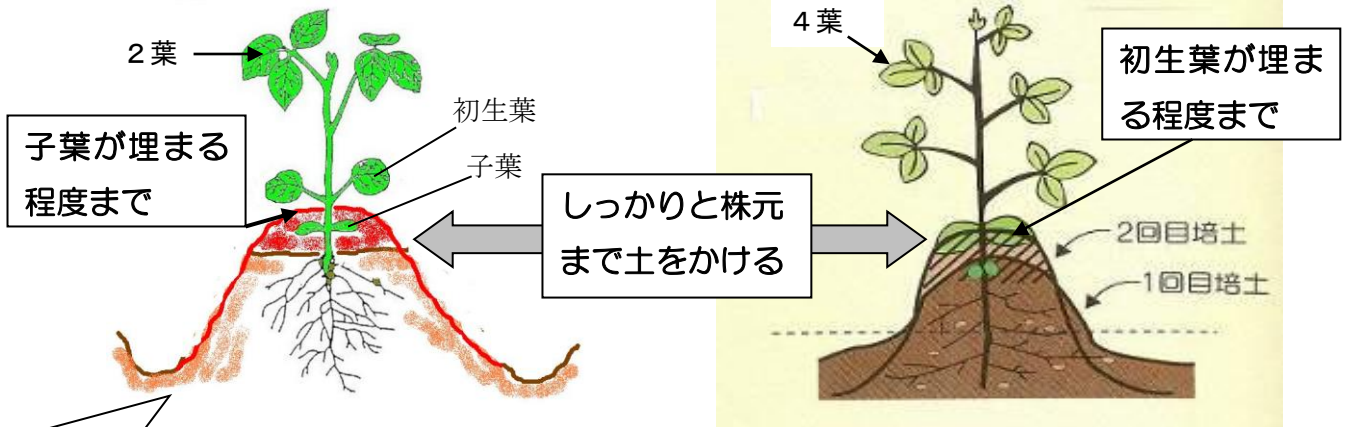
- ① 培土作業は、遅れず適期に行いましょう。
- ② ほ場が乾いている時に、培土作業を行いましょう。
- ③ 作業機は低速ギヤで、株元までしっかり土を寄せましょう。

第1回目培土（遅れずに！）

時期：本葉2～3葉期の頃
目安：播種後20～25日頃

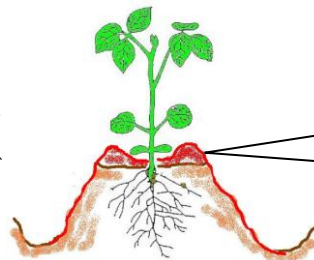
第2回目培土（確実に！）

時期：本葉4～5葉期の頃
目安：播種後30～35日頃



湿害に弱い頃なので、培土が遅れると黄化しやすく、生育量不足になる

こんな培土はダメ！



× 培土もどき

- 株元に土がかかっていない
- 水がたまって湿害に

生育促進・収量増加のため、培土は遅れず確実に。

3 排水対策

- 培土後にできた溝は、額縁排水溝や低く掘り下げた排水口に連結し、溝に水がたまらないようにする。
- 降雨後は、溝の連結や排水溝の崩れの手直しを行い、雨水を停滞させない。